

進路だより

小学部版

他学部版は HP に掲載しております

2022年3月2日
北海道余市養護学校
地域支援部 進路担当

小学部段階で「進路」を考える際に大切なこと

「進路」というと、高等部卒業後の就労や活動などの事業所利用や、中学部の高等部進学というイメージがあり、小学部段階ではまだ早いのでは、という気持ちがあるのではないのでしょうか。では、小学部在学中に「進路」を考えるとしたら、どのようなことが大切になるのでしょうか。

今年度の本校では、「生き生きと学び 地域社会で豊かに生活する 児童生徒を育てる」という学校教育目標のもと、小学部は「楽しいこと・できることを増やし、自分のことを身近な人に伝える力を育てる」という学部目標を設定して教育活動に取り組んでいます。この目標の中には、「基本的な生活習慣の獲得」「生活リズムの確立」「人との適切なかかわり」「自己表現」「豊かな生活体験」「集団の中の役割意識」などの教育活動全般で大切にしていることが含まれます。そして日々の学習や生活の積み上げが、「学校を卒業した後の生活を豊かにし、社会に積極的に参加していく」という、高等部卒業後の進路実現につながっていくという意識が大切になってきます。

学校卒業後の進路を考えることは、就労先や昼間の活動場所など、学校に代わる「通う場所」を探すだけでなく、生活の場や利用できる制度、活用できる福祉サービス、その先の将来のことなど、これからの生活全般を考えることが大切です。そのためには、本人を中心にして家族皆で考え、話し合っていくことが大事になります。

皆で考え話し合うためには、そのための材料が必要です。まず、地域資源としてどんな事業所や施設があるのかを見学（自分の目で確かめる）することが大切です。事業所の雰囲気や作業内容など、具体的な利用のイメージが湧いて、将来の生活を考える際の参考になります。放課後等デイサービスを利用しているご家庭は多いと思いますが、日中一時支援、短期入所（ショートステイ）などの福祉サービスの利用で、お子様の経験の幅を広げることも大事です。将来の一人暮らしに向けて、グループホームの見学も参考になります。ただし、地域の特性として、希望するサービスが利用できない（サービスを提供する福祉事業所が無い）場合もあります。そのような地域事情を知っておくのも必要と考えます。

情報収集の方法として、学校の担任を通じて進路担当に伝えていただいたり、相談支援事業所への相談などもよいと思います。小学部から「進路」を意識すること、行動することが大切と考えます。

高等部の現場実習について

高等部の現場実習は、3年生は卒業後の大切な進路選択として6月末～年明けまでの幅広い期間で行っています。1年生は地域の事業所で現場実習を体験する目的として、2年生も本人や保護者の事前見学も含めて卒業後の利用先の選択の参考となるように、新型コロナウイルス感染症の影響による実習先の感染対策状況による受け入れ期間などを考慮しながら実施しています。今年度、実習させていただいた事業所は次のとおりです。

1年生実習先

余市幸住学園
サポートセンターたね
あおぞら



珍味の袋詰め作業

2年生実習先

余市幸住学園 音幸舎
YUI たかしま 四ツ葉学園
ぶりもばっそ
パティスリー楽



家電の解体作業

3年生実習先

笑ころ	かむかむ	そら
ひかり	ライズ	キロロン
マックスバリュ		メープル
サポートセンターたね		塩梅屋



リサイクル品の分別

※具体的な氏名と実習先が繋がるような掲載は、個人情報保護の観点から行っておりません。